



**免許証の
自主返納で
困らないよう**

半田市議会議員の こいでよしかず義

市政あれこれ

47



発行日 令和元年12月1日
事務所〒475-0828 半田市瑞穂町5-3-18
連絡所〒475-0078 半田市新池町2-201-22

地域のバス路線づくりを進めます

地域にバス路線を開設するには、地域の力が必要です。利用側の熱意なくして、便利なバス路線はできません。地域バスを維持するには、路線毎に年間10万人の利用が必要です。通勤や通学で毎日利用の可能性のある方も含めて、互助の精神で、自らが利用する時の備えとして取組んで頂きたいです。

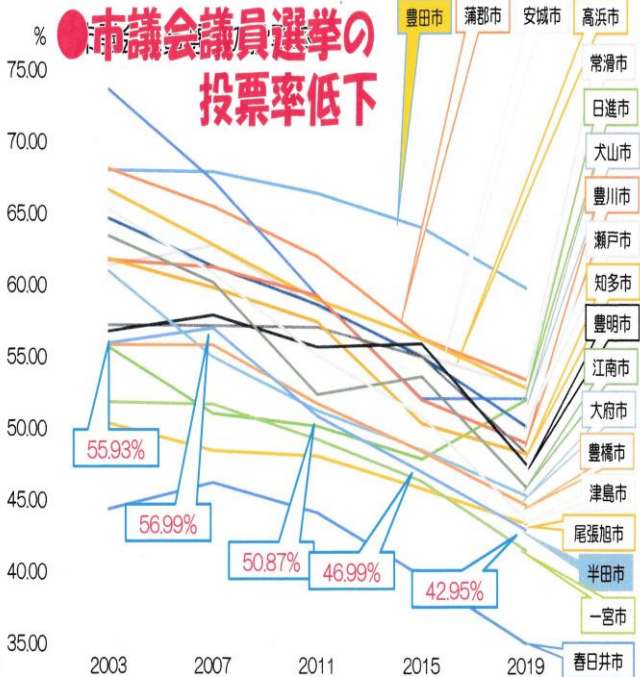
昨年秋から半田市内では、カラフルな小型バス3台の運行が始まりました。市民が気軽に出かけられるよう、地域交通の見直しが目的です。既存路線と併せられ路線になりましたが、市民の気軽なお出かけに対しては道半ばです。高齢の運転者による事故が多発しています。免許証の自主返納ができるよう地域バスの充実を図って参ります。

地域バスの充実が必要!!



新たな路線を準備中!!

現在、新たに3路線の開設準備が進められています。私はそのうちの「さくら小学校区の地域バスを考える会」のお手伝いをさせて頂いています。現在は、地元区民を対象に意見交換会を行い、交通環境に対する地元住民の考え方や意識を確認しています。次の段階で、実施プランを作って参ります。運行開始目標は、令和3年4月です。地域でも同様の活動が必要であれば、是非お声掛けください。



春の市議会議員選挙の投票率は42.95%で、過去最低でした。同時に行われた19の自治体のなかで17番目と低調な結果でした。常に高い順位にある豊田市では、過疎地に向く「移動投票所」や誰もが投票できる「共通投票所」を設けています。半田市でも新たな取り組みが必要です。

投票率は過去最低!!

街の魅力を高める

“文化振興”でまちづくりを!!



半田市民憲章に、「私たちは、教養をふかめ、高い文化を築きましよう」とあります。市民活動の様々な場面で、この一節を唱和して頂いています。しかし、この文化を築く具体的な道筋の用意が出来ていません。

国は、「文化芸術基本法」を制定し、文化芸術の役割を「活力ある社会の形成にとって重要な意義を果たすことを確信する」と述べています。基本法の趣旨に沿ったまちづくりは、重要な意味を持つと考えます。愛知県内でもすでに15の市町が文化振興計画を策定しています。中には、計画に沿った

結果を出している自治体も現われています。半田市は、未整備です。

半田市は、「山車・蔵・南吉・赤しんが」をPRポイントとしています。それぞれの文化的価値を検証し、保存継承していく具体策が必要だと思えます。

文化の対象は、文化財や芸術活動だけではなく、衣食住も文化です。それぞれの質を高めることに、文化が育まれると考えます。

文化振興の意義や目的を整理した「文化振興計画」を策定し、豊かなまちづくりをすすめていきたいと考えています。

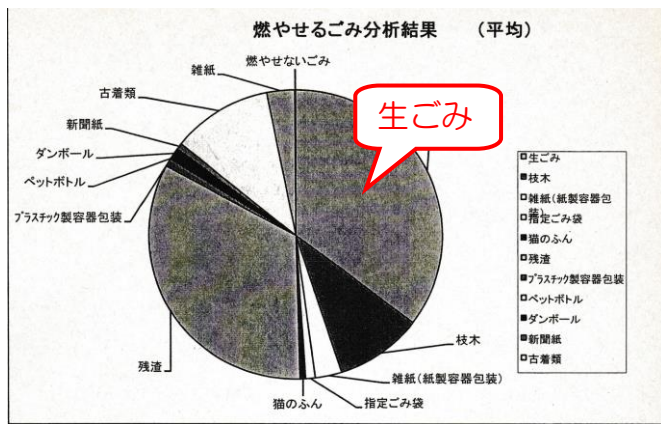
家庭ごみの有料化が始まります

燃やせるごみ分析結果 (平均)

「循環型社会」の形成は、我々にとって責務ともいえる課題です。環境省はこの循環型社会の形成に向け、市町村の役割として「一般廃棄物の排出抑制や再生利用の推進、排出量に応じた負担の公平化」を図る方針を出しています。

令和4年4月から、知多南部2市3町で運営する新たなごみ処理施設「知多南部広域環境センター（武豊町十一号地）」の稼働が始まります。この稼働にあたって、

燃やせるごみ分析結果 (平均)



●家庭系ごみを有料化

袋の料金 10円 → 50円



処理にかかる費用 158.9円

み減量に取り組む必要があります。削減の対象の第一は生ごみで、燃やせるごみの3分の1に当ります。食品を買いすぎない、調理し過ぎない、食べ残さない。この事ができれば、生ごみは劇的に削減できます。

家庭ごみの有料化を令和3年4月から実施予定です。具体的には、45Lのごみ袋の料金が現行の10円から50円に改定されます。45Lのごみを処理するのにかかる費用は、158.9円かかるとのことです。4分の1の負担を頂くようになります。

但し、ごみが減量されれば、新たなセンターの維持費の軽減につながります。また、負担増になる分は、還元される考えが示されています。